

新規の取組提案の検討一覧

資料6

No.	取組項目名称	課題意識	取組・連携内容	目指す成果	作業部会
1	広域観光の推進	新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、観光入込客数はコロナ禍以前の状況に回復しつつある。多くの市場で円安傾向が続いていることで、外国人の訪日需要は高まっているが、十勝の訪日外国人宿泊者数は、道内6圏域別において最低水準である。今後、幅広い分野に経済波及効果をもたらす訪日外国人旅行者の更なる誘客を推進することで、地域の活力を高めていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、食、自然景観などの地域資源を活かした魅力ある観光コンテンツの開発やツアー造成を行う。 ・訪日外国人旅行者に向けた十勝一体での観光情報の発信を強化する。 ・重点市場（シンガポール、香港、韓国、台湾）に向けた観光プロモーションを行う。 	管内訪日外国人宿泊者数（十勝総合振興局公表統計）の増加につなげる。	産業振興・地産地消
2	鳥獣害防止対策の推進	人口減少が進む中、市内のハンター数は10年前と比較すると約1割減少しており、ここ最近ハンター数は横ばい状態を保っているが、中長期的にみるとエゾシカやヒグマなどの対応にあたる鳥獣被害対策実施隊の担い手不足が懸念されるため、課題解決に向けた取り組みが必要である。	今後、懸念される鳥獣被害対策実施隊の担い手不足への対応として、現状や課題の共有を進め、圏域での取り組みにつなげる。	圏域の市町村が、共通の課題に対して、情報の共有を図ることで、実施隊の効率的な運用や、事業の継続性を高めることを目指す。	産業振興・地産地消
3	除雪サービスの維持・向上	人口減少が進む中、除雪業務における委託業者の減少や除雪機械のオペレーター不足が懸念されており、委託業者の負担軽減や除雪作業の効率化を図るなど、今後の除雪体制の維持に向け、取り組みを進めていく必要がある。	作業部会を創設し、除雪体制についての情報交換や課題共有を行うほか、情報通信技術（ICT）を活用した効率的かつ効果的な除雪作業などの取り組みを検討する。	課題等の共有や解決策の検討を行うことで、今後の除雪体制の維持・向上につなげる。	<新規創設>